

## 麻生区区民会議 第2回全体会議 議事要旨

- 1 開催日時 平成22年10月1日（金）午後3時00分～午後4時45分
- 2 開催場所 麻生区役所第1会議室
- 3 出席者 [区民会議委員]  
天野委員、飯塚委員、石井委員、植木委員、魚本委員、大高委員、  
梶委員、勝田委員、高瀬委員、竹市委員、武濤委員、田中委員、  
土井委員、福田委員、柳島委員、山崎委員  
（欠席）金光委員、鴨志田委員、菅原委員、東川委員  
[参与]  
雨笠参与、伊藤参与、勝又参与  
（欠席）尾作参与、花輪参与、山口参与、山崎参与、相原参与、  
吉田参与  
[区役所]  
磯野区長、渡辺副区長、間中区民サービス部長、檀市民税担当部長、  
月本保健福祉センター所長、木下保健福祉センター副所長、  
中山こども支援室長、黒田道路公園センター所長、原橋総務課長、  
入口地域振興課長  
[事務局]  
安生企画課長、阿部企画課担当係長
- 4 傍聴者 3人
- 5 議事
  - (0) 議事に先立って
    - ・委員長あいさつ
    - ・高瀬委員、梶委員から自己紹介
  - (1) 広報・広聴活動等について
    - 【報告事項】（企画部会より）
      - ・企画部会の委員構成の説明と正副部会長の選任について説明。  
（企画部会長には金光委員、企画部会副会長には天野委員が就任）
      - ・区民会議の広報・広聴活動として次の5つを実施することを提案する。
        - ①市政だよりに掲載  
会議の開催日時や審議経過内容を掲載する。
        - ②区役所ホームページへの掲載  
会議の開催日時、全体会議の議事録や専門部会の摘録、会議資料等を掲載する。
        - ③区民会議ニュースの発行

原則、全体会議後に発行し、町内会・自治会や市の施設に配布する。

記事案の作成・編集は企画部会委員が担当する。

ニュースの印刷・発送は企画部会委員を中心に他の委員も協力する。

④課題提案箱の設置

⑤区民会議傍聴者アンケートの実施

**【主な意見】**

- ・傍聴者アンケートについて、アンケート用紙配布時に返信用封筒もつけて、後で家に帰ってから落ち着いて書いてもらってはどうか。また、FAXやメールでもよいのではないか。

**【決定事項】**

- ・企画部会からの報告どおりに広報・広聴活動を行う。
- ・傍聴者アンケートに返信用封筒を添付する案については、企画部会に持ち帰り、再度検討する。

(2) 第3期の調査審議課題等について

ア 課題の選定について

イ 専門部会の設置について

**【報告事項】（企画部会より）**

- ・調査審議課題を、市の政策の基本的な指針である「川崎再生フロンティアプラン」の7つの基本政策によりまずは分類した。
- ・町会単位での活動や、町会・自治会との連携が必要であることを確認し、『35町内会・自治会との連携』として課題を追加した。
- ・新しい事業だけでなく、既存の活動への協力も行うということで、『27「しんゆり・芸術のまち」の情報発信』を追加した。
- ・各委員はそれぞれが携わっている活動に縛られず、一区民会議委員として臨むことが確認された。
- ・各課題については、各専門部会に分かれてから、それぞれ優先順位付けや絞り込み等、掘り下げていくこととした。
- ・第2期同様、専門部会の数は2つが妥当とした。資料3のとおりそれぞれの課題をテーマ分類ごとに振り、2つの部会『地域交流・文化部会』と『環境・緑化部会』を設定した。
- ・課題によっては、その他分類の『第1・2期区民会議の再精査や継続の検討、課題の担い手の発掘と育成』『町内会・自治会との連携』など、両方の専門部会に関わるものもあり、これについては両方に含むものとし、それぞれの部会で意識して取り組むこととした。

**【補足説明】（事務局、企画部会より）**

- ・各配布資料に沿って補足説明をする。
- ・「文化・芸術」などすでに軌道に乗っているものについては、審議課題の検討調査というよりは、活動として支援にまわることとする。

- ・区民会議の全体テーマについては、各専門部会の審議状況をみながら、企画部会を中心に検討していくこととする。

#### 【主な意見】

- ・資料4-1右側にある『地域のつながり（交流）再掲』が、資料3では抜けてしまっている。→ その場で修正（追加）を確認する。
- ・資料中の課題「35町内会・自治会との連携」とは、具体的にどのようなことを指しているのか。
  - 参考資料2にあるとおり、市民へのアピールと参加促進のために町内会・自治会の協力を求め、取組みの際の連携を図る。
- ・今後区民会議を進めていく上で、麻生区にすでにあるさまざまな団体を取り上げている活動ではなく、取り上げられていない活動を扱ったほうが区民にとってよいのではないか。また、全体として町会連合会の方に情報が反映されておらず、本腰を入れて協力を仰ぐなら、検討が必要である。
- ・麻生区協働推進事業についても、区民会議委員は勉強したほうがよい。
- ・町会がどんなことをやっているか、どんな課題をもっているかを勉強・確認しながら、区民会議で取り上げるものが重複しないようにしたい。
- ・大学生との連携について、もっときちんと位置づけてほしい。大学生の考える力も我々の力に加え、展開していきたい。
- ・現在も既にオーリーブまつりやk i r a r a@アートしんゆりの各イベントで大学生は活躍している。

#### 【決定事項】

- ・企画部会からの案のとおり、「地域交流・文化部会」「環境・緑化部会」の2つの専門部会を設置する。
- ・区民会議の全体テーマについては、今後、企画部会を中心に検討していく。

### ウ 今後の流れの確認

#### 【説明事項】

- ・各委員には、いずれかの部会1つに所属してもらう。
- ・所属する部会の希望調査と会議開催日の日程調整を、併せて調査票により行う。
- ・第1回目の各専門部会では、各部会で取り上げる審議課題の優先順位付けや絞込みの実施と具体的な取組み方法について検討し、その後、次回全体会議までの間、順次各専門部会を開催する。
- ・企画部会は、各専門部会開催後に部会長も含めて開催する。
- ・2月上旬頃に第3回全体会議を開催し、各専門部会から経過報告を行う。

#### 【主な意見】

- ・2つの専門部会に所属することは可能か。
  - 基本的に1つにしてもらいたい。活動が盛んになると、かけもちは厳しくなる。
- ・今日出席の委員に希望を確認し、この場で調整してしまえばよいのではないか。
  - 欠席者もいるし、今日提出できる人は調査票を提出してもらう。専門部会の所

- 属と日程については事務局に早めに調整してもらおう。
- 会議の開催日については、委員の参加人数が一番多いところで調整したい。
  - ・欠席者の主張が消えてしまうから、一番最初の専門部会だけは、全員出席がのぞましい。
    - 企画部会で決めたことだから、提出した調査票の中で調整してもらえばよい。
    - 専門部会には全員出席してもらった方がよいが、例えば、調査票に「○×」だけではなく、「△」（何とか都合が付く時間がある、この時間なら大丈夫等）を記入してもらったら、よりきめ細かく調整できるのではないか。
    - 全員が出席できる、ということは現実的にかなり困難。どうしても発言したいことなどがあれば、欠席の際は事前に事務局に伝えておけばよい。
  - ・調査票の提出締切日を早めることはできないか。
    - 委員の承認の上、提出締切を10月5日に設定し直す。

### (3) その他

#### 【主な意見】

- ・委員間で情報発信や、事務局からの通知が誰宛なのかの確認、返信する際の情報共有などをスムーズにするため、メールアドレスの交換について提案する。
- ・会議資料は、委員全員に事前に配って当日持参してもらえば、紙の無駄を省ける。
  - 会議ごとに同じ資料が配られたり、その都度作り変えられたりしているが、もったいない。基礎となる大事な資料は各委員に保存してもらい、会議当日持参してもらえばよい。

#### 【決定事項】

- ・委員の了解により、委員間の連絡先を交換することが決定する。
- ・今後は、先に配布した資料のうち当日使えるものは、事前の通知で持参してもらうよう事務局から依頼する。但し、途中で変更等内容が変わったものについては、改めて当日資料を配布する。

#### 【説明事項】

- ・事務局より「川崎再生フロンティアプラン第3期実行計画素案」の説明。

- ・参与からの助言
- ・区長からあいさつ